



現在大陸を統べる
国家群は
創造神の末裔たる竜を
守護竜として
奉じている

従竜士とは
竜の試練を受け
半人半竜となった
守護竜の使徒なのだ

国に逗留しているとは
限らないし
人前に姿を表すのも
まれである

だからさ
感謝したり
驚いたりしない
人はいないよ

…ほう

…そうだ

サファイア…
彼女は

竜だ

…ほう



人間達がかの者を
礼賛するのは
分かる



だが私の
従者たんと
するものが
他の竜の…
しかも従者に
そのような顔を
見せるとは…



…いやなに

俺へ従竜士の
儀式を課す為に
森の人に扮して
姿を偽っているが

まぎれもなく
守護竜として
祀られるべき…



我には
そのような顔を
向けなかつたくせに



いや
それは



偽らない本心か
どうか

この儀式の最中に
我から目を
逸らすなよ

いえ
改めて
じつと見ると
サファイアの反応が
新鮮で...

なっ

欲情した
獣の目に
見えるな

どうした

体液交換せねば
儀式にならんぞ

ふっ...

ふっ...

だって
キスしたら

貴方の
目を見れない

はっ

はっ、あゝ

あゝ

ふっ

バカ正直な
ヤツだ...

マヌマヌ...



